

玉縄城 まちだより

発行者：玉縄城址まちづくり会議 荒井章 ☎ 0467-45-7411 〒247-0073 鎌倉市植木 425-16

公式 Facebook ページ <https://www.facebook.com/tamanawajyoshi>



2013年の玉縄城址まちづくり会議

玉縄城址まちづくり会議は、玉縄城築城500年祭、4月の年次総会を経て、玉縄城址の里山を次世代につなげる「玉縄城里山復活事業」と玉縄の素晴らしさを再発見する「玉縄城文化創生事業」の二事業に従来の活動を統括してさらなる充実を図ると共にあらたな目標を定め、2013年のスタートを切りました。

5月3日、当会の会員20名が鎌倉市代表として、小田原北条五代祭りに参加しました。玉縄城初代城主の北条氏時とその家臣団12名に会員が扮してパレード。また女性会員は鎌倉市の広報ブスの運営に当りました。玉縄城からの参加は、北条五代祭り49年目にして初めてのことで、「鎌倉よく来てくれた！」の聲が飛び交い、鎌倉松尾市長、小田原加藤市長からの激励も受け、来年以降の参加も約しました。また後北条の時代をテーマにNHKの大河ドラマ化をめざし小田原、鎌倉など関連自治体による観光推進協議会の運動も始まり、当会も市民として応援します。

さて私たちの市民による玉縄城址のまちづくりの活動は、第二ステージに入りました。「玉縄城里山復活事業」として市民緑地の管理奉仕を町内会と協力して継続します。5月に好評のうちに開校した「里山学校」を充実させます。また玉縄城址に第二の市民緑地づくりをめざします。

「玉縄城文化創生事業」としては、「玉縄ふるさと館」の運営展示、「玉縄学習センター資料コーナー」の展示、「玉縄アカデミア」の発表など玉縄再発見の活動を一層充実させます。とくに埋もれている玉縄の文化財のリスト化、データ化、さらには文化財指定へ向け、市との連携のもと、計画づくりに入るため、松尾市長とは「玉縄のまちづくり案と要望書」を交しました。

皆さま、あたらしい玉縄づくりを、ご一緒にめざしましょう。

玉縄の素晴らしさ再発見【玉縄城文化創生事業】の活動

玉縄ふるさと館を中心とする玉縄の文化センターづくりを目標とし、玉縄城の歴史の再発見・発表を進め、それを魅力ある地域文化として開花させる「玉縄城文化創生事業」を進めています。

<玉縄学習センター郷土資料展示>

玉縄城のあたらしい遺構調査の報告を文化財課と協力し企画展示しています。【鉄錆地紺絲威胸取 鎌倉雪ノ下五枚胴と草摺】と【鉄錆地三十二間関東型筋兜】も今年度中展示いたします。どうぞご覧ください。



築城 500 年企画展「北条早雲と鎌倉そして玉縄城」



「玉縄城の埋蔵文化財遺構展」

<玉縄歴史アカデミア連続セミナー>

No.15 2 月 「快元僧都記」の世界（その 4） 伊藤一美氏

No.16 4 月 「玉縄城主綱成と跡継ぎ氏繁の活躍」 伊藤一美氏

No.17 6 月 鎌倉の埋蔵文化財 16 玉縄城の埋蔵文化財発掘成果の報告 玉林美男氏

No.10～No.14 には著名な専門家を迎え、清泉女学院でセミナーを開催、校内の遺構見学も好評でした。



No.10 城郭史の西ヶ谷恭弘氏

No.14 伊藤一美氏 中世史の小和田哲男氏 作家 伊東潤氏

No.13 戦国史の黒田基樹氏

<玉縄ふるさと館>

学校の社会科見学：小坂小学校、腰越小学校、第一小学校、七里ガ浜小学校、御成小学校、植木小学校、関谷小学校、玉縄小学校、岩瀬中学校、清泉女学院中学校を対象に実施しました。非常に好評でした。

ひな祭りお話し会：玉縄朗読会の皆さんの「人形劇」、「あらしのよるに」、「落語」もありました

古民家七夕演奏会：クラシックギターの宇賀神昭による、玉縄城址まちづくり支援のチャリティー演奏会が開かれました。クラシックの名曲、日本の歌曲、禁じられた遊びなど、70名を越す聴衆が魅了されました、玉縄生まれの宇賀神さんに、開発以前の自然あふれる玉縄城址で遊んだ少年時代の思い出話も語っていただきました。

（担当：荒井幸子、森靖子、寺口順子、杉山藤子、富岡澄恵）



小田原加藤市長、鎌倉松尾市長も訪問 見学の小学生 宇賀神昭チャリティーギター演奏会 七夕飾りに願いを込めて

玉縄城址の里山を次世代につなぐ【玉縄城里山復活事業】の活動

これは玉縄城の里山公園づくりなど玉縄城里山復活のための活動です。鎌倉には都市公園が 10 ヶ所もあります。鎌倉でいちばん若い世代も子どもも多い玉縄にも、子どもたちが遊び自然への愛を育む自然公園、森林公園がぜひ必要と考え、いま残る城址の森の自然を親しく体験できる里山公園として再生させることをめざします。

<里山学校>

5 月、市みどり課川名課長を講師に招いて開校。驚くほどの城址の植生の豊かさを学びました。これからも生物多様性をみつめ、「里山学校」の教材としてフィールドノートにまとめ、青少年の学習に役立てる計画です。



マムシ草の観察



川名課長のアジサイの講義



木陰のベンチで一休み

<七曲坂アダプト・プログラム>

鎌倉アダプト・プログラムを始めて 6 年、ここ七曲坂は城址の特別緑地と植木緑地に囲まれた、玉縄城の雰囲気が残る自然の宝庫です。昭和 50 年代までホテルも生息し、現在もサワガニがいます。この場所を暮らしに身近な緑を育てる里山として、市民、地権者、市の各部署が協働して美化奉仕をつづけています。（担当：加藤明彦、荒木俊彦）



500 年祭の舞台にもなった七曲坂の冠木門

坂下の鎌倉みどり幼稚園前の草刈り

坂上の雪の除去作業

<玉縄城緑地愛護会>

七曲坂の頂上にある太鼓櫓址に「植木 1 号市民緑地」が誕生し 1 年がたちました。毎月の美化奉仕に加え、探鳥会、野鳥の巣箱づくり、取り付け、自生の野草ホタルブクロの植栽などを実施、丹精こめた山百合も咲きました。マユミ、クリ、カキ、コブシなど市民緑地の樹木名札も付けました。ぜひお出でください。（担当：増川勇次郎、松田明）



野鳥の巣箱掛け



ホタルブクロの植え付け



ヤマユリの開花

企画広報の活動報告

< 2013（平成25年）1月～7月 >

- 1 月 理事会で、購入した甲冑披露
 - 2 月 松尾市長に25年度事業の鎌倉市文化財課との協働要望書提出
 - 3 月 要望書に基づき文化財課と協働開始
 - 4 月 鎌倉祭りで世界遺産の広報活動
- 第7回【総会】 54名が出席



会員の犬谷副市長 浅尾衆議院議員

~~~~~

- 5 月 第49回【小田原北条五代祭り】  
玉縄城初代北条氏時隊として、氏時公と武将、旗持侍など12人で行列



女性会員は鎌倉の広報ブースで活躍

~~~~~

- 7 月 市の各審議会を傍聴する
松尾市長と26年度事業の懇談
広報紙No.12の発行

(担当：荒井幸子)



【鉄錆地三十二間関東型筋兜】と【鉄錆地紺絲威胸取

鎌倉雪ノ下五枚胴と草摺】の由来

この関東型筋兜の由来は、正確には不明。兜のヘルメット部分には2枚の鉄の板を継いだ継ぎ目が曲がって筋になっているので三十二筋兜といい、室町時代に流行した瓜型の阿古陀形という形式のなごりです。また、雪ノ下五枚胴は、伊達政宗が鎌倉の雪ノ下にルーツをもつ職人に仙台藩のオリジナルとしてつくらせたものとおなじ様式です。

(担当：大竹正芳)



玉縄アカデミアセミナー開催

九月二十三日（祝・月）玉縄学習センター

【玉縄の緑の将来像】13：30～

講師：鎌倉市みどり課職員

【歴史セミナー】15：00～

綱成と氏繁の時代と功績 伊藤一美氏



玉縄城主墓前祭の開催

十一月二十三日（土）龍寶寺

【城主法要会】09：00～

【歴史講話】09：20～

玉縄城について 伊藤一幸

甲冑のお話し 大竹正芳

【玉縄城楽市】10：00～

黒米お餅・注連縄・野菜苗・花苗の楽しみ有



七曲坂の野草⑤「ホタルブクロ」

名前の由来は、花の中に蛍を入れて遊んだこと、提灯の古名を火垂るといふように花の形が提灯に似ているからとの二説があります。市民緑地に自生していて6月にベル型淡いピンクの花が数多く見られます。

(担当：増川勇次郎)



編集後記

お読み頂きありがとうございます。前号より当会ではフェイスブックとの連携をはじめました。おかげさまで、アクセス数は伸び、いいね！と皆様に頂いた数は、420人です。中には外国からのアクセスもあり、玉縄への関心の高さが伺えます。まだ見たことのない方は是非見てみてください。情報発信に頑張ってください。

(編集長：上島寛弘)